

令和7年3月31日

石巻市議会議長 遠藤 宏 昭 殿

会派名 ニュー石巻

代表者名 会長 奥 山 浩 幸

要請・陳情活動報告書

要請・陳情活動について、次のとおり報告します。

記

- 1 要請・陳情 昨今の社会情勢は、国際的な原材料価格や物価の上昇、中東情勢の影響も懸念され、国内においては、令和6年の能登半島地震をはじめ、多くの自然災害が各地を襲い、市民の生活は今後も支援が必要であり、本市の取り巻く環境については、急速に進む少子高齢化や、特に、若い世代を中心とした人口減少などが喫緊の課題であり、市税の減少や公共施設の維持管理経費の増加など、非常に厳しい行財政運営となっている。

以上を踏まえ、社会情勢への対応や地域課題の解決に向け、地元選出議員において、地域の実情・市民ニーズを理解、そして、国からのより一層の支援を求めるため、要望を行う。

- 2 日 時 令和7年3月25日（火）午前9時～午後2時

- 3 相手先

（1）宮城県選出（推薦）国会議員

自由民主党政務調査会長 小野寺 五 典 衆議院議員（秘書対応）

森 下 千 里 衆議院議員

桜 井 充 参議院議員

和 田 政 宗 参議院議員（秘書対応）

（2）関係大臣要望

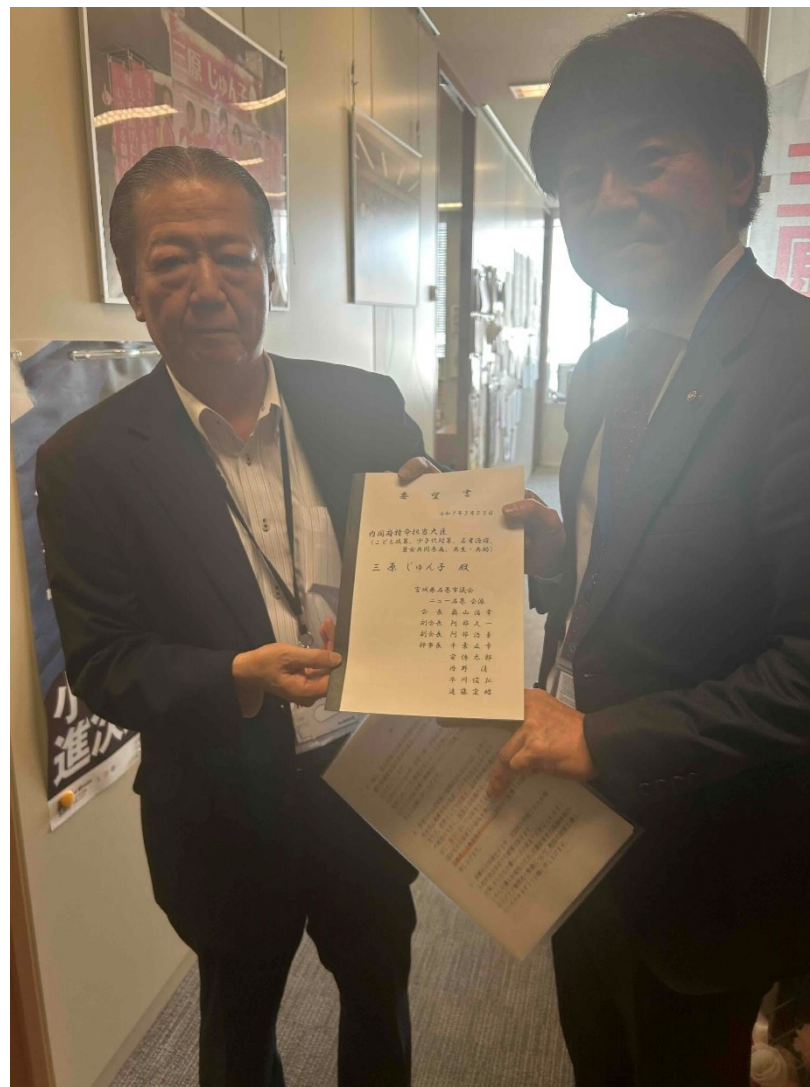
文部科学大臣 阿部 俊子 衆議院議員（秘書対応）

内閣府特命担当大臣（こども政策、少子化対策、若者活躍、男女共同参画、共生・共助） 三原 じゅん子 参議院議員（秘書対応）

- 4 場 所 衆議院第一・第二議員会館、参議院議員会館
(東京都千代田区永田町二丁目 2-1、1-2、1-1)
- 5 参加者氏名 奥 山 浩 幸、阿 部 久 一、阿 部 浩 章、
千 葉 正 幸、安 倍 太 郎、丹 野 清、
早 川 俊 弘、遠 藤 宏 昭
- 6 要請・陳情
の 概 要 上記目的のため、学校給食費無償化を国策にて実施すること、都市間での保育士の給与水準格差を是正すること、介護従事者の報酬単価引上げと労働環境の整備に特段の措置を講ずることの 3 点について要望活動を行った。詳細については、別紙のとおり。
- 7 参加経費 285,548円
(3月24日に東京都で研修を受けたため、研修受講経費を除いた要望活動に係る経費、交通費、宿泊費を合算した額を記載)



< 小野寺五典 衆議院議員秘書 手交 >



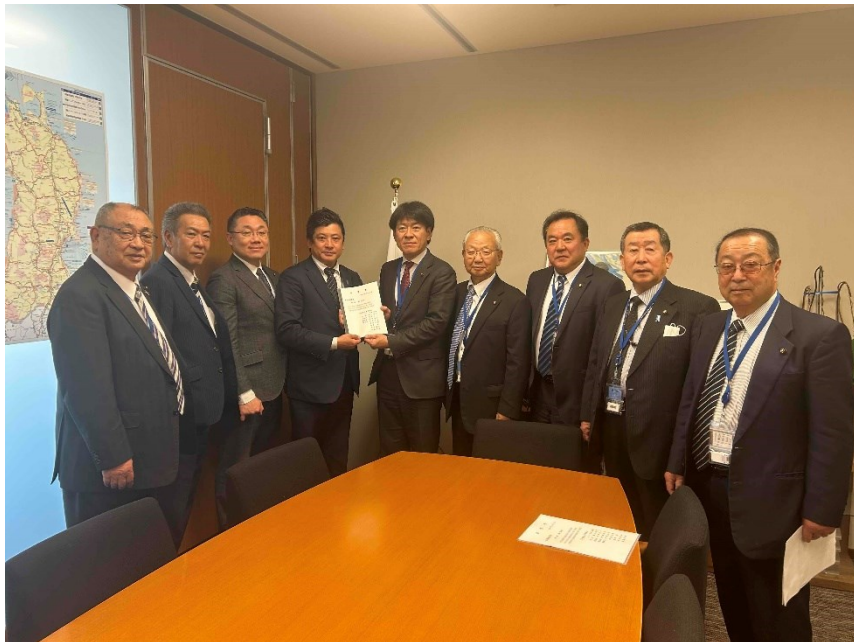
< 三原じゅん子 参議院議員秘書 手交 >



< 阿部俊子 衆議院議員秘書 手交 >



< 桜井充 参議院議員 手交 >



< 和田政宗 参議院議員秘書 手交 >



< 森下千里 衆議院議員 手交 >

要 望 書

令和7年3月25日

文部科学大臣

阿 部 俊 子 殿

宮城県石巻市議会

二工一石巻 会派

会 長 奥 山 浩 章

副会長 阿 部 久 一

幹事長 千 景 正 章

安 倍 太 郎

丹 野 清

阿 部 浩 章

早 川 俊 弘

遠 藤 宏 昭

学校給食費の保護者負担の無償化に関する要望書

石巻市では、東日本大震災発生から 14 年目を迎え、全国の皆様から御支援・御協力のおかげで、復旧・復興に係る基盤整備事業は完結いたしました。

今後は、被災者の心のケアや地域コミュニティの再生など、ソフト事業に取り組んでいるところでございます。

住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまちづくり、誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまちづくりの実現に向けて事業を推し進めているところですが、石巻市を取り巻く環境は、急速に進む少子高齢化や、特に、若い世代を中心とした人口減少が喫緊の課題であります。

こうした中、国からのより一層のご指導ご支援を賜りたく下記のとおり要望するものでございます。

記

1. 現在、各自治体の方針や財政状況により学校給食費の保護者負担の状況は異なっており、自治体間で格差が生じています。

全国的に少子化の中、全国一律に学校給食費の保護者負担においては、格差が生じることの無いよう国策における学校給食費の無償化について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

要 望 書

令和7年3月25日

内閣府特命担当大臣

(こども政策、少子化対策、若者活躍、
男女共同参画、共生・共助)

三 原 じゅん子 殿

宮城県石巻市議会

ニュー石巻 会派

会 長	奥 山 浩 幸
副会長	阿 部 久 一
幹事長	千 景 正 幸
	安 倍 太 郎
	丹 野 清
	阿 部 浩 章
	早 川 俊 弘
	遠 藤 宏 昭

保育士給与の地域格差是正に関する要望書

石巻市では、東日本大震災発生から 14 年目を迎え、全国の皆様から御支援・御協力のおかげで、復旧・復興に係る基盤整備事業は完結いたしました。

今後は、被災者の心のケアや地域コミュニティの再生など、ソフト事業に取り組んでいるところでございます。

住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまちづくり、誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまちづくりの実現に向けて事業を推し進めているところですが、石巻市を取り巻く環境は、急速に進む少子高齢化や、特に、若い世代を中心とした人口減少が喫緊の課題であります。

こうした中、国からのより一層のご指導ご支援を賜りたく、下記のとおり要望するものでございます。

記

1. 保育士の公定価格の地域区分においては、令和 6 年 8 月に地域手当の見直しが示されたところではありますが、依然として中核都市と道府県や地方都市との格差は大きく、保育士は処遇の良い中核都市へ流出し、地方においては保育士不足となっています。国が定める保育士の給与水準について、中核都市と地方都市との格差是正について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

要 望 書

令和7年3月25日

自由民主党 政務調査会長

衆議院議員 小野寺 五 典

衆議院議員 森 下 千 里

参議院議員 桜 井 充

参議院議員 和 田 政 宗 殿

学校給食費の保護者負担の無償化要望

保育士給与の地域格差是正に関する要望

介護従事者の労働環境の整備に関する要望

宮城県石巻市議会

ニュー石巻 会派

会 長 奥 山 浩 幸

副会長 阿 部 久 一

幹事長 千 景 正 幸

安 倍 太 郎

丹 野 清

阿 部 浩 章

早 川 俊 弘

遠 藤 宏 昭

要 望 書

石巻市では、東日本大震災発生から 14 年目を迎え、全国の皆様から御支援・御協力のおかげで、復旧・復興に係る基盤整備事業は完結いたしました。

今後は、被災者の心のケアや地域コミュニティの再生など、ソフト事業に取り組んでいるところでございます。

しかしながら、昨今の社会情勢にあっては、国際的な原材料価格や物価の上昇、中東情勢の影響も懸念され、国内においては、令和 6 年の能登半島地震をはじめ、多くの自然災害が各地を襲い、今後も国民生活には支援が必要な状況となっております。

石巻市の取り巻く環境については、急速に進む少子高齢化や、特に、若い世代を中心とした人口減少が喫緊の課題であり、また、財政状況を見ると、人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響により、市税の減少が見込まれ、歳出においても震災後に整備した公共施設の維持管理経費の増加など、非常に厳しい行財政運営となっております。

以上を踏まえ、住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまちづくり、誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまちづくりの実現に向けて事業を推し進めているところでありますが、地域の実情、市民ニーズをご理解いただき、国からのより一層のご指導ご支援を賜りたく 3 項目について要望するものでございます。

記

1. 現在、各自治体の方針や財政状況により学校給食費の保護者負担の状況は異なっており、自治体間で格差が生じています。

全国的に少子化の中、全国一律に学校給食費の保護者負担においては、格差が生じることの無いよう国策における学校給食費の無償化について、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

1. 保育士の公定価格の地域区分においては、令和6年8月に地域手当の見直しが示されたところではありますが、依然として中核都市と道府県や地方都市との格差は大きく、保育士は処遇の良い中核都市へ流出し、地方においては保育士不足となっています。国が定める保育士の給与水準について、中核都市と地方都市との格差是正について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

1. 高齢化が加速化する中、全国的な問題である介護人材不足は本市でも顕著であります。今後、さらなる介護ニーズの高まりが想定されますことから介護人材確保のため、介護従事者の報酬単価の引上げと労働環境の整備について、特段の措置を講じていただきますようお願い申し上げます。